本所二葉小學校。淀橋光風亭。月島第一小學校、

十三日　夜六時
淀橋公會堂。浅草公會堂。南千住第二瑞光小學校。
日暮里愛隣園。大塚豊島亭。高田鬼子母神亭。
芝日本労働會館（總同盟）大島城東労働学院
亀戸工友會（他三ヶ所場所未定）

十四日　夜六時
目黒會館。

以上

別記（二）

スト情報

第十四報　九月十三日午前十時　争議本部書記局

ゼネスト八日我々の偉大なる力の前には国家權力の発動も躊躇し電気局も整理案の実施を五日間延長するの止むなきに至つた。而も全国より澎湃として捲き起る全労働者農民の市電争議応援の奮激は今や期せずして労働者農民の資本家に対する全国的斗争に発展せんとしてゐる。市当局が如何に小細工をし様とも我々が断乎ストを継続する事によつて勝利は確定的である。絶対勝利を確信して邁進せよ！　当局の一歩退却を更に追撃して息の根を絶て！

▲大阪市電労働同盟本部委員長安部伊勢太郎氏、大阪市従業員自治会委員長福井隆要氏他数氏は応援の為め上京活動してゐる。

▲堺市無産団体応援協議会結成され全市に演説会開催争議基金募集等を決定応援の檄文を飛行便で送つて来た。

▲農民組合新潟の聯合会より激励的応援に起つ兵糧準備中との電報があつた。

▲稀朋会市会議員は暴圧案に反対市長局長糾弾運動を続けてゐるが争議団を一層積極的に応援に乗り出した。

▲スキャップ青年団に対する斗争は争議団及応援団或は他無産団体により執拗に行はれてゐるが牛込区青年団は応援せざることなり本所区に於ても同様決定した。今迄で青年団は全部引込まざるを得ない、執拗にスキャップ反対斗争をせよ！

▲電車青南。各市会議員訪問に五十名動員し五班に分け支部首脳部と班長に決定本部指令通り午前六時一斉に訪問したるに三名会見二名不在なりしも結果良好不在者に対しては更に午後訪問する予定。尚十五日争議団員を三回に分け支部倶楽部に集め意気の高揚を計ると共に労働講座をやる事となり本部に講師を依頼した。

▲自動車目黒。強制解雇されてゐるが争議団は本部首脳部の絶対信頼指令通り闘争最後迄頑張ると意気旺盛。昨日町民の応援あり応援金五十円寄贈さる。

▲自動車若松町。社大党浅沼、麻生、河野氏等の応援激励に全員意気益々昂る。日を経る。